

挨拶

全日本聾教育研究会
会長 鹿島 浩
(愛知県立岡崎聾学校長)

第54回全日本聾教育研究大会が、日本国中がコロナ禍の中で、全国各地から多くの先生方のご参加をいただき、ここ埼玉の地において盛大に開催できますことは、全日本聾教育研究会として大きな喜びであります。

本大会の開催にあたり、主管校の埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園、坂戸ろう学園の教職員の皆様をはじめ、協力校の関東地区22の聾学校の教職員の皆様の周到な準備に、心より御礼申し上げます。

特に、今大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のために、Web会議システムの利用、会員参集型から各校における参加型、記念講演や授業公開はライブ配信やオンデマンド配信での提供等、大きく開催方法を変更することによって、本日の開催を迎えております。新型コロナウイルス感染症という前代未聞の状況下において、実行委員長の桑原校長先生のリーダーシップの下、関東地区24の聾学校が一丸となり、新しい様式での大会開催案を提案され、本日の開催に至ったことは、一言で表現できない程の重みと価値があり、改めて心から敬意を表するものであります。

さて、本大会の主題は、「自ら学びを深め、たくましく生きる力を育むろう教育」です。社会の変化に対応し、人生の幅を広げるため、問題に直面した時、自ら対処するために、「学ぶ力」「生きる力」を育むことが必要である。そのためにはどうしたらよいか、聴覚障害児に対する教育の課題や成果、聴覚障害教育の専門性と新たな展望について考えます。記念講演は、東京学芸大学教授 濱田豊彦先生に、「ろう教育で大ボラを吹く」と題してご講演をいただきます。濱田先生のろう教育への強い思いがお聞きできるのではないかと今から「大ボラ」の中身が楽しみでなりません。さらに、本研究会が大切にしてきた当日の授業（指定授業）も視聴でき、授業研究分科会では質疑応答や意見交換を行います。聴覚障害教育の中心となって研究並びに実践をされている助言者から、授業改善や今後の聴覚障害教育に資する貴重なご指導やご助言をいただけることと確信しています。

本大会が教育実践を互いに学び合う基本理念に基づき、全国の聴覚障害教育に携わる教職員の多様な教育実践とその成果並びに課題について、建設的かつ活発な意見・情報交換を行い、互いに研鑽を深められる研究会になることを切に願っております。

最後に、本大会の開催に当たりご後援いただきました文部科学省をはじめ、大会の開催のためにご尽力いただきました埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会、坂戸市教育委員会及び関係諸団体に改めて厚く御礼申し上げますとともに、本大会にご出席いただきましたご来賓の方々、会員の皆様に心から感謝申し上げます、挨拶とさせていただきます。